

第35号

小菅ヶ谷地区 社協だより

発行日：令和4年11月1日
発行元：小菅ヶ谷地区
社会福祉協議会
発行責任者： 田中 伸一

第3回栄区フードパントリーを開催しました！



寄付品が沢山集まりました！

長く続いている新型コロナウイルス感染症の影響により、失業や減収が続き経済的に困窮している世帯が増加していることを、皆さんはご存じでしょうか？

栄区では昨年度から、生活にお困りの方を支援するため、栄区社会福祉協議会主催・7地区社会福祉協議会が共催で「栄区フードパントリー」を実施しています。

7/30（土）、第3回目となるフードパントリーを行いました。今回からは事前予約制とし、食料の提供だけでなく、地域とのつながりづくりや困りごとの把握ができるよう工夫し、フードパントリーをきっかけとして新たな相談に繋がった事例もありました。

小菅ヶ谷地区社協も、たくさん集まった寄付品を仕分けたり、参加者の方々へ直接お渡ししたりとお手伝いとして参加し、「ありがとう」の声をたくさんいただきました。

長引くコロナ禍の中で生活にお困りのご家庭に小菅ヶ谷地区社協として少しでもお役に立てればと、栄区社協と一緒にこの「フードパントリー」を始めました。

この活動が続けて開催出来ているのも、多くの物品や新鮮野菜などを寄贈いただいた企業や農家さんのお力があつたからです。感謝申し上げます！



第4回栄区フードパントリー 令和4年12月3日(土)

区役所で食品の寄付を募集しています！

《受付できる食品》

- 賞味期限が2カ月以上残っているもの
- 常温保存可能なもの

《受付窓口》

- ①栄区役所地域振興課（本館4階 46番窓口） ☎894-8576
祝祭日を除く月～金の8：45～17：00
- ②資源循環局 栄事務所 ☎891-9200
月～土の9：00～11：30、13：30～16：00

あなたの近くの 地域ケアプラザ

～赤ちゃんからお年寄りまで～

こんな時にご利用ください

介護保険の利用について詳しく聞きたい。介護の相談をしたい。



認知症かもしれない。受診の前に、まず相談できる所があるといいな…

近所の方、急に元気がなくなって、心配。どうしたら良い？

福祉の総合相談窓口である**地域包括支援センター**でお話を伺い、関係機関と連携して必要な支援を進めていきます。**ケアマネステーション**も併設しています。まずはお気軽にご相談ください。



親子で参加できる催しものや小さい子供が遊べる場所はないかな？



障がいのある人たちが楽しく過ごせる場所は？



ボランティア活動をしてみたいけど、どこに相談したらいいのかな？



引っ越してきたばかり。知り合いを増やしたいなあ…

地域ケアプラザでは、**交流の場**としてお部屋をお貸ししたり、**講座や催し物**を行ったりして**地域活動を応援**しています。また、**地域の情報**を収集し、必要な方に提供しています。コーディネーターまで、お気軽にお声掛け下さい。

小菅ケ谷地区、二つのケアプラザで連携している事業

うたっちゃお

中途障害をお持ちの方のサロンです。歌や楽器の演奏はもちろん、おしゃれな小物を作ったり、ゲームを楽しんだりしています。演奏の発表会も開催します。



ほほえみサロン

大船ルーテル保育園のご厚意でお部屋をお借りし、ケアプラザまで来るのが難しい方を対象に出張サロンを開催しています。おしゃべり、体操、講座、趣味の会などで月に一回、盛り上がっています！

キャンドルホルダーのワークショップ

認知症の方にもやさしいまちづくりを目指した取り組みです。キャンドルホルダーを作ってオレンジ色（認知症啓発のテーマカラー）の灯りを灯し、認知症の方へ想いを寄せます。両ケアプラザにキャラバンメイトSKE（認知症啓発に取り組む団体）が協力してくれています。地域の皆様もぜひご参加ください！



小菅ケ谷地域ケアプラザ ☎045-896-0471



平成13年2月にオープンして以来、小菅ケ谷地区の皆様にご愛顧頂きながら20年余り…となりました。

1階には、通常型デイサービス「ききょう」と認知症対応型デイサービス「はまなす」を併設しております。また、栄区のシニアクラブ連合の事務所もあります。2階には、栄区生活支援センターが合築されています。また、貸館として大小3つのお部屋があり、地域活動の場として賑わっています。

地域に開かれた施設として、これからも皆様と共に歩んでまいります。

本郷台駅前地域ケアプラザ ☎045-392-5157



昨年12月に本郷台駅前に新しくオープンした**SAKAESTA(さかえすた)**の中にある新しい地域ケアプラザです。

SAKAESTAは、地区センター、区民活動センター、地域ケアプラザの3つの機能を持つ横浜市内初の複合公共施設です。この名称は、栄+establish（エスタブリッシュ・創設）の造語で、“地域に愛され、地域に根強い施設として確立してほしい”という願いが込められています。

これから、小菅ケ谷地区に愛され、地域に根強い施設となるよう取り組んでまいります。

「あいタク」利用で、実菅会への参加が便利になりました！

実菅会では毎月第3金曜日13時30分より「さかえすた」で楽しい例会を開催しています。本年7月より栄区社会福祉協議会と協力し、会員のための送迎に「あいタク」事業の利用を始めました。

この事業は栄区内のタクシー会社と協定を結び、実菅会開催当日に毎回決められた時間にタクシーが実菅会の会員さんのお宅を順番に廻って会場の「さかえすた」までお連れします。また終了後も同様にご自宅までお連れするというものです。

このように実菅会に参加される会員同士が一緒に相乗りで利用できますので費用も抑えられ、またタクシー会社で教育を受けられた親切なベテランドライバーさんが毎回送迎していただけますのでとても安心です。現在は、会場までは歩くには

ちょっと大変という方がご利用しております。利用料金は会員さんからは毎回往復で300円をいただき残りは実菅会で負担します。利用されている会員さんからは大変好評をいただいております。このように実菅会への参加も大変便利になりましたので皆様にはぜひ一度ご見学にお越しください。ボランティア一同心よりお待ちしております。



シニアクラブの「友愛活動」をご紹介します！



高齢化が進み、一人暮らしや高齢者世帯が増加する中で同じ世代を生きてきた者同士が「同じ世代の仲間」として支え合う活動がシニアクラブです。現在小菅ヶ谷地区には各町内会自治会で合わせて12のシニアクラブがあり、786名の方が会員として活動に参加しています。

具体的には①地域高齢者の「健康づくり・介護予防活動」②在宅高齢者やその家族を支援する「友愛活動」③安全・安心の住みよい町づくりを目指す「奉仕活動」の3つを活動目標として活動を進めています。

今回はその中で「友愛活動」について小菅ヶ谷地区友愛部会の伊勢崎さんからお話を伺いましたのでご紹介します。『友愛活動とは、身近にいる仲間が必要としていることを少しお手伝いしよう

という活動で、各シニアクラブの友愛活動員を中心に進めています。

高齢者が増え病気や一人暮らしで心細い日々を送ることになった時、話し相手や見守ってくれる仲間がいることは心強いことでしょう。誰もが老いを迎える中で、仲間として語り合い共感しあえることで共に生きる力が湧いてきます。

具体的には高齢者ご夫婦、お一人暮らしの方々を見守り、話し相手になったり、生活上のちょっとしたお手伝い、健康や防災に役立つ情報の発信・居場所・たまり場の運営など小菅ヶ谷地区の町内会自治会や地域ケアプラザ、民生委員の方々と協力しながらこれからも友愛活動員として皆さんのお役に立てるよう努力してまいります。』

第35号は、フードパントリー、小菅ヶ谷地域、本郷台駅前地域ケアプラザ紹介、友愛クラブの内容を中心に報告致しました。今年もつい最近まで新型コロナウィルス感染予防で集会、外出自粛要請の為、活動自粛を余儀なくされ、敬老の集いも中止のやむなくに至りました。10月に入りやっと感染も下火になりつつありますが、これから寒さに向かう折、さらなる予防を心掛けるようお願い致します。

《お問合せ先》 横浜市栄区小菅ヶ谷地区社会福祉協議会 事務局：涌井秀治（☎893-6418）